

「宇宙なう」

校長 濱井 孝久

令和3年12月20日、日本の民間人として初めて国際宇宙ステーション（ISS）に滞在していた衣料品大手ZOZOの創業者、前澤友作さんが、ロシアのソユーズ宇宙船で無事、地球に帰還しました。滞在期間は12日間で、民間人のISS滞在は世界で10人目だったそうです。

この宇宙旅行の費用はおよそ100億円とも伝えられていますが、生徒のみなさんが大人になったころ、宇宙旅行はいくらぐらいになっているのでしょうか。

前澤さんは、自身のツイッターに「宇宙なう」と宇宙から投稿しました。また、「本当にあったよ。宇宙が」と発言し、話題となりました。民間人らしい感想で、科学者や宇宙関係者からは、なかなか聞けない貴重な言葉でした。そして、宇宙に行きたいという子供のころからの夢を実現させた前澤さんはすごく頑張った人だと思いました。

話は変わり、同じく令和3年12月20日、宇宙航空研究開発機構（JAXA）が日本人宇宙飛行士候補者の募集を開始しました。13年ぶりの募集だそうです。また、前回よりも応募資格が大幅に緩和されたそうです。その中の一つに「学歴不問」がありました。

これまで宇宙は、特別な能力をもった人や特殊な訓練を受けた人だけのものでした。しかし、最近は、宇宙への入り口が大きく広がってきています。

私の勝手な予想ですが、今から10年後、20年後、月面での様々な活動が盛んになっているかもしれません。

生徒のみなさんどうですか？宇宙旅行や宇宙飛行士という選択肢は。

◆◆◆ 2学期のアクションプランの取組について ◆◆◆

アクションプラン1 学び合い、共に高める学習活動

アクションプラン1のキーワードは、「学び合い、共に高める学習活動」です。「学び合いを促す手立て」や「ICTの効果的な活用」を工夫し、授業を実践しました。ペア学習やグループ学習など学習形態を工夫し、互いの意見を交流する場を設定しました。生徒同士の学び合いを通じて、自分の考えが深まったり、広がったりしたという感想が増えました。

ICTの効果的な活用として、タブレットを使って課題について調査したり、まとめたりする活動を多く取り入れました。生徒は、プレゼン資料やレポートの作成に集中して取り組むことができました。また、資料の提示や音声を使った学習活動等で、電子黒板やデジタル教科書の学習支援機能等を活用したことで、生徒は目標を明確にしながら学習課題に取り組むことができました。今後も生徒の学ぶ意欲が高められる授業づくりに取り組んでいきます。



1年英語 ペア学習



2年理科 グループ学習

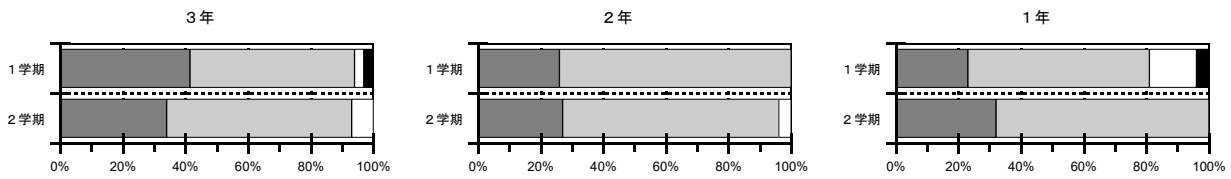


3年保健体育 タブレットを活用

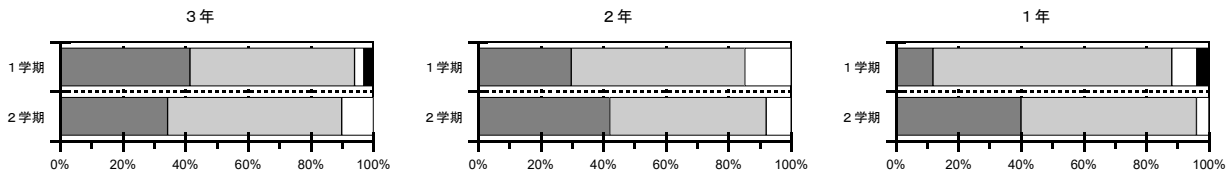
【学校評価アンケート（生徒）の結果】

: A よくあてはまる
 : B だいたいあてはまる
 : C あまりあてはまらない
 : D まったくあてはまらない

1 授業では、課題に対して自分で考え、進んで取り組むことができた。



2 授業では、話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた。



アクションプラン2 仲間を認め合い、高め合う態度の育成

アクションプラン2のキーワードは「仲間を認め合い、高め合う態度の育成」です。生徒同士が関わり合いの中から、共に高め合う集団づくりを心がけています。2学期は、運動会や学校祭を通して、達成感や充実感を感じたという感想が多く聞かれました。そして、11月より、2年生が中心の後期生徒会へとバトンタッチし、生徒総会では、より充実した生徒会活動を目指して、活発に議論が行われました。また、小中合同さわやか挨拶運動を行い、湖南小学校では元気な挨拶の声が聞かれました。今後、生徒会ではSDGs活動の一環として、アルミ缶回収運動や書き損じはがき回収運動に取り組んでいきます。

12月3日の入学説明会では、生徒会執行部と1年生実行委員会が学校生活について新入生と保護者の前で堂々と発表し、上級生となる自覚が伺えました。

今後も様々な体験活動を通して、生徒一人一人が自己有用感をもち、仲間とともに高め合う生徒を育成していきます。



生徒総会



小中合同さわやか挨拶運動

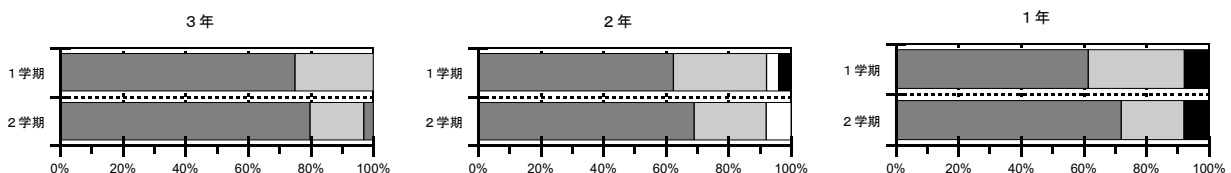


入学説明会で学校紹介する1年生

【学校評価アンケート（生徒）の結果】

: A よくあてはまる
 : B だいたいあてはまる
 : C あまりあてはまらない
 : D まったくあてはまらない

3 みんなで協力して物事をやり遂げ、うれしいと感じることができた。



4 自分にはよいところがあると思うことができた。

